

# 西宮 えびす

令和五年  
新春号



# 令和五年 新春

西宮神社宮司 吉井良昭

## 新

春を迎え、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本年もえびす大神様の広く篤い福をお授かりになられ、愈々のご多幸、ご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

社頭では歳旦祭に始まる正月神事の齋行や各種新年祈禱が続きますが、これらの神事に欠かせぬものが神楽です。大神様の御心を和め楽しんで頂こうと、各地、各社で様々な神楽がご神前に奉納されます。地域色豊かな里神楽は、神様に楽しんで頂くことは勿論ですが、それは見る側にも「場の演劇を見るような興趣があります。

このような神楽の中に、えびすさまが登場する神楽も数多く舞われ、ほとんどは演目の題を「えびす(舞)」としています。中には「西の宮」と題している地域があります。三陸海岸沿岸から内陸にかけての岩手、宮城両県の神楽です。

奥羽地方は神楽の宝庫といわれるように、修験道から発した神楽が山間部から海岸部まで環境が異なる広い地域で多様な形で舞われています。系統としては山伏神楽、番神楽、南部神楽、法印神楽に大別できます。これらのなかで、えびすさまはどのようなに舞われているのでしょうか。

内容から三つに分けられます。

- 一 天照大御神が蛭子命に「恵比寿」として漁の守護神となるよう申し付ける
- 二 浜辺に着いた小さな船には蛭子三郎と巻物が載せられており、この巻物を読み上げると魚を採って暮らす術が記されていた(或いは、西の宮の神の由来が書かれていた)
- 三 鯛釣りが中心で赤い布を結んで禰とし、舞台下の観客と鯛釣りの掛け合い

一は早池峰神楽に見られ、二は南部神楽や法印神楽によく登場します。三は前者と共通する場合がありますが、えびすさまの鯛釣りは各地で広く見られます。

法印神楽では、切紙の鯛を釣り上げて西の宮(蛭子神)の由来を言い立て、結びには「海上擁護の神だが(元来土の徳たる故、猶守り、風雨の荒きも静めつつ、四海泰平帆を揚げて、西の宮へと急ぐ也」と締めくくります。まだ見ぬ「西の宮」を思い描きつつ、えびすさまの由来、神徳に聞き入ったのでしょうか。

奥羽地方は、江戸期には幕府許可のもと、当社から御神影札(えびすさまのお姿を描いたお札)が各所で頒布されていた地で、えびす信仰が深く浸透していました。そこでは修験系で最も重要な「山の神舞」と共に、見る側の要請で「恵比寿舞」「西の宮」が演じられ、人気を博していたのでしょう。記紀神話、海の神信仰、遠く津の国西の宮のえびす神と様々な要素を神楽に包み込み、「鯛釣り」という象徴的演技で観客の喝采を浴び、えびす信仰は御神影頒布と相まって、人々のところに宿り現在に続いています。

このように福の神えびす大神様は、その土地の風土によってご神徳も多様で、様々な形態をもって信仰が捧げられています。このことは市井の人々の「福の神」への祈りがいかに篤いものかを物語っています。

皆様には、新しき年がえびす大神様の御加護、御導きにより福多き年となりますようお願い申し上げます。



# 「令和の本殿御屋根葺替事業」 のご案内

**当** 社本殿  
は、春

日造の屋根を  
三棟連結した  
他に類を見な

い唯一独特な  
構造をもつも

ので、三連春

日造(西宮造)

と称されてい

ます。江戸時

代の寛文三年

(一六六三)に

四代將軍徳川家綱公のご造営にかかる

本殿は、大東亜戦争の烈しい戦禍の為、

昭和二十年(一九四五)鳥有に帰してしま

いました。戦後募財が開始され、氏子崇

敬者の熱意と浄財をもって昭和三十六年

(一九六一)十一月に本殿が旧国宝の姿のま

まに麗しく復興されました。

そして現在復興より六十年余りが経

過し、本殿・拝殿の御屋根葺き替えをす

る時節にあたり、折しも来る令和七年に

は、西宮市制施行百年の節目の年を迎

えます。西宮市が誕生した大正十四年

明治時代の本殿(当時国宝)



(一九二五)四月一日に  
は、西宮神社本殿にて  
市制施行奉告祭や祝  
賀式が執り行われ、多  
くの参拝者が西宮市の  
誕生を西宮神社で盛  
大にお祝いしました。

つきましては、西宮市制施行百年奉  
告祭を盛大に斎行するにあたり「令和の  
本殿御屋根葺替事業」として本殿・拝殿  
銅板葺き替えを行い、併せて境内整備  
設備改修や全国西宮調査報告書刊行を  
はじめとする各種奉賛事業を計画して  
います。



昭和9年 式年遷座された本拝殿

昭和36年本殿復興



えびす大神様より賜りますご神恩に  
報いるとともに  
に、後世に継ぎ  
伝えるご神徳  
をさらに宣揚す  
るよう今事業  
に格別なるご協  
力、ご支援を賜  
りたくご奉賛を  
お願い申し上げ  
ます。



# 事業内容について

## ① 本殿銅板葺替工事

復興から約六十年が経過し、本殿・拝殿御屋根の銅板老朽化など各所で修繕が必要となっており、本殿・拝殿の御屋根銅板葺き替え・拝殿壁塗り直し、傷んだ扉修繕等の工事を実施致します。

また令和四年十一月一日より銅板奉賛受付を開始しております。銅板に祈願名・名前・住所などご自身でご記入頂けます。また奉納頂いた銅板は御屋根修繕に使用致しますので、皆様のご支援宜しくお願い致します。

空から眺める本殿・拝殿とえびすの森

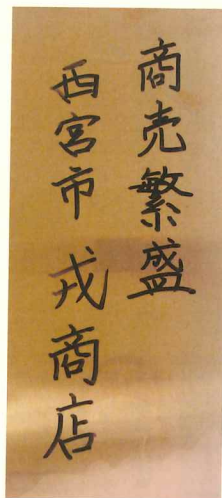


ご奉賛頂いた方には、えびすの森の御神域をお護りし、役割を終えたご神木で調製した奉賛証をお渡し致します。



## 銅板奉賛二口三、〇〇〇円

お一人様何口でもお申し込み頂けます。



銅板に祈願名・名前・住所などを記入して頂けます。ご奉賛頂いた銅板は本殿・拝殿の御屋根に使用させて頂きます。

## ◎ 銅板奉賛のお願い

この度令和七年四月一日に西宮 工事を令和六年二月二十日〜十一月施行百年を迎えるにあたり、月末の期間計画しております。装いが新たになった本殿にて盛大に市制施行百年奉告祭を執り行 をご理解頂き銅板奉賛のご協力うべく、本殿・拝殿の銅板葺き替え をお願い申し上げます。



裏 表



## ②西宮市制施行百年奉告祭

西宮市は大正十四年四月一日に誕生し、この日当社で市制施行の祭典や祝賀式が執行され各界の代表が参列、多くの参拝者が終日盛大にお祝いました記録が残っております。

来る令和七年四月一日には、装いが新たになりました御社殿にて西宮市制施行百年奉告祭を斎行致します。



大正14年4月1日 市制施行 奉告祭



大正14年4月1日 市制施行 市民を迎えて祝賀式

完成した神池参道

## ③境内整備・設備改修工事



参拝の皆様が福々しい気持ちでご参拝頂くため、老朽化した駐車場公衆トイレ改修、舗装が剥落して、傷んでいる神池参道の補修、日本遺産にも認定された灘五郷の清酒を中心とした飾り樽舎改修、境内放送機器改修などの境内整備・設備改修を計画しております。



改修予定の飾り樽舎

## ④全国西宮調査報告書刊行

西宮市制施行百年を記念して、全国に散見する「西宮」を分類（地名・神社名・石造物・旅行記・交通表示・古地図・神楽など）に収集・調査し記念冊子を刊行致します。



山形県長井市



# はつもうで 初詣

十日えびす

また正月・十日えびすは大変混雑が予想されます。「大福初詣」として令和4年12月1日～令和5年2月末まで招福御幣・干支物・熊手など授けしておりますので、安全にお参り頂く為に「密」を避け分散参拝のご協力をお願い致します。

※福笹の授与は令和5年1月4日～2月末まで

## ◎年末年始行事予定

- 12月27日 10時 煤払祭  
10時半頃 逆さ門松調製
- 31日 16時 大祓式  
18時 除夜祭
- 1月 1日 6時 歳旦祭
- 2日 10時 奉射事始祭
- 3日 9時半 元始祭
- 5日 11時 境内末社 百太夫神社祭
- 8日 9時半頃 招福大まぐろ奉納式  
13時 献華祭
- 9日 14時 有馬温泉献湯式(宵えびす)  
16時 十日戎 宵宮祭
- 10日 4時 十日戎大祭(本えびす)  
6時 開門神事 福男選び  
(残り福)
- 11日
- 15日 10時 十日戎報賽祭

## ◎福火点灯

- 12月31日 18時30分～翌17時
- 1月 2日 8時～17時
- 1月 3日 8時～17時
- 15日 7時半～17時
- 2月 3日 17時～20時

## ◎新年ご祈祷のご案内

十日えびす三日間はご祈祷の受付場所を神社社会館へ移し、密を避けごゆっくりお待ち頂けます。



### ご祈祷料

個人五千円、法人二万円、  
※十日えびすにご祈祷料一万円以上お納め頂いた方には、神楽券をお渡し致します。

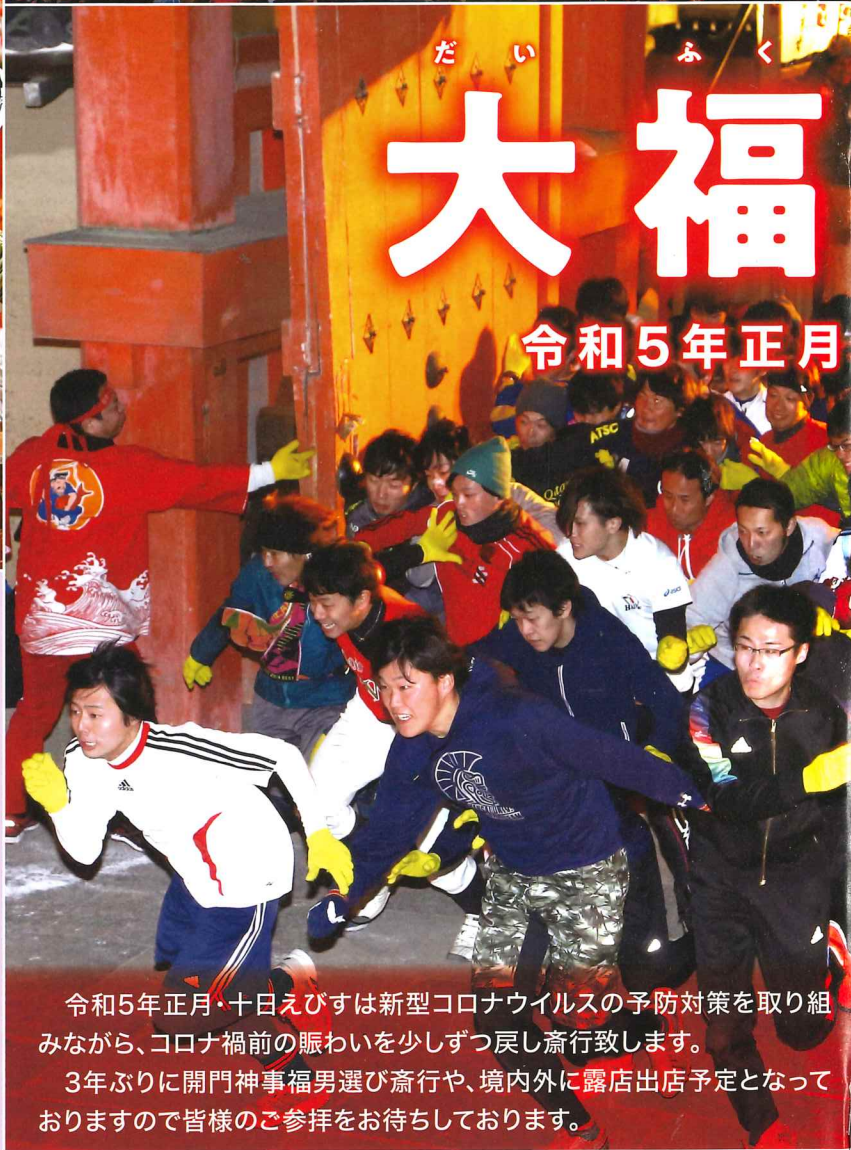
## 正月・十日えびす 郵送祈祷のご案内

新型コロナウイルスの影響など諸事情により正月・十日えびす期間中に参拝の叶わない方には郵送による申込みを承っております。

### ●郵送でのお申込み方法

① 郵送でのご祈祷をご希望の方は、振込用紙を送付致しますのでご連絡下さい。

② 振込用紙に必要事項記入し、お近くの郵便局にてお振込み下さい。



## ◎中止事項

### ■正月

- 神社会館での屠蘇・茶菓接待  
(神社会館閉鎖)
- 境内振舞い酒、えべっさんの酒販売
- 御朱印の朱印帳への浄書  
(事前に浄書した朱印帳・紙朱印を授与致します)
- 福神カレンダー配布

### ■十日えびす

- 神社会館での神賑行事
- 会館・おかめ茶屋でのお茶券の使用
- 奉納大まぐろへの賽銭の貼り付け
- 九日有馬温泉献湯式での  
芸妓による拝殿での湯もみ
- 御朱印の朱印帳への浄書  
(事前に浄書した朱印帳・紙朱印を授与致します)

令和5年正月・十日えびすは新型コロナウイルスの予防対策を取り組  
みながら、コロナ禍前の賑わいを少しずつ戻し齋行致します。

3年ぶりに開門神事福男選び齋行や、境内外に露店出店予定となっ  
ておりますので皆様のご参拝をお待ちしております。

## 参道ライブ配信のご案内

昨年度に引き続き令和5年正月・十日えびすでも参道の様  
子をライブ配信予定  
となっております。

参道の様子をご  
覧頂き分散してお  
参りにご協力お願い  
致します。



▼ご祈禱・郵送祈禱  
の詳細については、  
十日えびす特設サ  
イトをご覧ください。



十二月二十五日までに  
お申し込み下さい。

④ 一月下旬頃、お下がりをお  
送り致します。

神職が祈禱奉仕致します。

# 第二回えびすフォトコンテスト

# 『笑う門には福来る』

受賞作品

最優秀賞

現像写真の部

『福来る』hana様



最優秀賞

インスタグラムの部

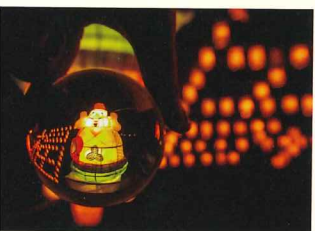
『やぶれちゃった』

@aru.diary様



受賞作品  
発表

『狛犬さんとえびす顔』  
(インスタ)  
@chiropana\_様



『何が釣れるかお楽しみ〜』  
(現像写真) 森田栄一様



『おもちつき』  
(現像写真) とーたん様



『だいすき』  
(インスタ) @na777様



昨年引き続き今年も「えびすフォトコンテスト」を令和四年五月二日〜八月三十一日の期間開催しました。  
第二回えびすフォトコンテストのテーマは「笑う門には福来る」ということで、えびすさまのような福々しい笑顔の写真や、心温まるみんなが笑顔になれるような写真を募集致しました。  
昨年の応募数を上回る現像写真九十一点、インスタグラム三百三十六点もの素晴らしい作品が寄せられました。たくさんのご応募ありがとうございました。





日本初の西洋人形劇を描いた浮世絵 (明治後期)

次回展示企画第四十回企画展

人形劇の図書館コレクション展 第四弾

# 「現代人形劇の二〇〇年」

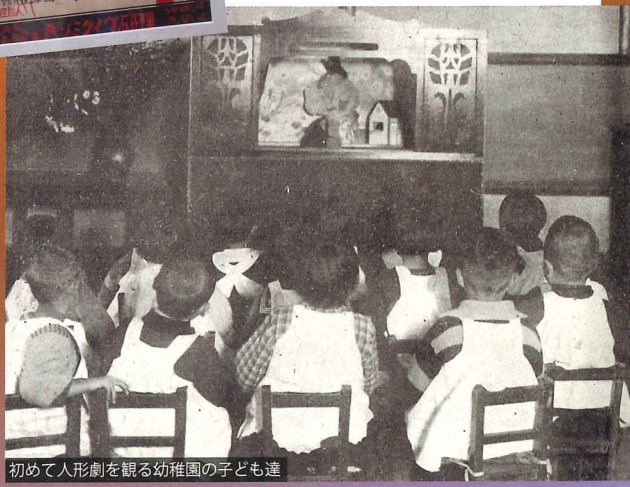
一九二二〜二〇二二

令和五年二月十五日(日)〜三月三十日(木) 開館時間：午前九時〜午後四時  
 会場：社務所階 えびす信仰資料展示室

ちょうど二〇〇年前の大正十二年(一九二二)はじめて子どもたちを対象とした「教育の人形劇」と、芸術運動としての「新興人形劇」がほぼ同時に興り、それをあわせたのが「現代人形劇」となりました。当時の貴重な資料を含むさまざまな興味深い資料をご覧頂きます。

溯れば人形芝居の源流が西宮の傀儡師であつて、その流れの先にある「現代人形劇」が誕生してめでたく二〇〇年を迎えたことで、まことにめでたい初春にふさわしい展示といえるでしょう。

新興人形劇のポスター



初めて人形劇を観る幼稚園の子ども達

宮司賞 『もぐもぐタイム』  
 (現像写真) 櫻井 正紀様



長崎賞 『かぶりつく!』  
 (インスタ) @avenir\_marche様



入賞 8 作品

『宝物が埋まってる!!』  
 (インスタ) @kanaeeyehsa様



『えびす様をガラス玉にとじ込めて』  
 (インスタ) @moca01\_photogallery様

『爆笑母娘』(インスタ) @rabbitmoon10様



『いつまでも...』(インスタ) @maco\_keychan様

『なかよく半分こ』(インスタ) @name\_taro12様

おみえす  
御神影摺り始め奉告祭齋行

令和四年八月二十日、下旬祭に併せ「御神影摺り始め奉告祭」を初めて執り行いました。

祭典では、宮水発祥之地（西宮市久保町）にて汲んできた宮水と和紙を神前に供え、祭典後に宮水と特別に調製した版木を使い、宮司・神職が自ら御神影札を手摺りました。

摺った御神影札は、十月十二日の「御神影頒布始祭」にて神前に供え遷霊し、参列された方々に授与致しました。

皆様も御神影札をおまつりし、えびすさまと深いご神縁を結ばれ、より一層福々しい日々をお過ごし下さい。

御神影札は授与所にて授与しています。



西宮神影  
(えびすさまの御神影札)



大國神影  
(だいくくさまの御神影札)



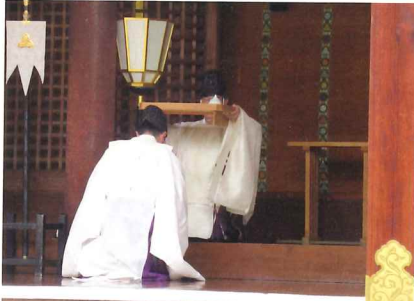
五穀神影  
(田の神さまの御神影札)  
各500円



御神影札を手摺りしている様子



宮水発祥之地での宮水の水汲み



宮水発祥之地にて汲んできた宮水と和紙を神前に供えます

おみえ 『御神影とともに暮らす日々』公開

御神影奉齋  
啓蒙動画



えびすさまの福迎え  
おみえ  
御神影とともに暮らす日々



えびす宮総本社 西宮神社

西宮えびす伝統のおふだ「御神影(おみえ)」の由緒を広く知って頂こうと、この度啓蒙動画『御神影とともに暮らす日々』を制作しました。

350年以上にわたってご家庭にえびすさまの笑顔と福を届けてきた御神影。本動画を通じて御神影が持つ歴史と伝統に触れて頂き、ご家庭・会社で御神影をおまつりするきっかけになれば幸いです。

動画はYouTube西宮神社公式チャンネルで公開しています。

こちらから  
ご覧下さい



◎入会時の年齢について

お申込み本年度内(4月1日～翌年3月末日)に18歳を迎えられる方を上限とします。  
※18歳をお迎えになった方には日供講員への入講をお勧めします。

◎年会費

2,000円

◎入会特典

- お誕生日の朝御饌祭(あさみけさい)に併せ誕生祭を奉仕し、後日お守りなどおしるしをお送りします。
- 年間行事の案内をお送りします。
- 吉夢を呼ぶといわれる縁起のよい「宝船絵」を12月にお送りします。



◎入会方法

社務所講社本部にてお申込み頂くか、お電話・メールにてお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

〒662-0974 兵庫県西宮市杜家町 1-17  
えびす宮総本社 西宮神社 講務課  
TEL : 0798-33-0321

Mail : komu@nishinomiya-ebisu.com



お子様の健康と幸せを願って…  
日供講社 柏会(お子様向け)のご案内

ご神前に神饌をお供えし、神恩感謝の念をささげる日供講社。

この度、広く氏子崇敬者のお子様方にもご神縁を広げたく、お子様向けの『日供講社柏会(かしわかい)』を新設致しました。えびすさまのご神紋である柏の葉は、新芽が出るまで古い葉が落ちない事から、代が途切れない子孫繁栄の象徴として尊ばれました。

今後とも、赤誠の念を柏の葉のように子々孫々にも継承され、お子様が健康に、お幸せにお過ごしになりますよう柏会への入会をお勧め致します。

第二回西宮・伝統芸能の夕べ  
文楽「釣女」奉納

令和四年八月十日に一般財団法人日本伝統芸術文化財団主催のもと、拝殿前特設舞台にて「第二回 西宮・伝統芸能の夕べ」と題して、文楽「釣女」が奉納されました。

第二回目となる今回は、西宮神社を舞台にした演目で、人間国宝の吉田和生氏他人形浄瑠璃文楽座技芸員の皆様により奉納上演されました。

真夏の夜、えびすの森で繰り広げられる悲喜こもごもな「婚活劇」に、約百八十名の方々に「観賞頂き、大変盛り上がりました。今後とも、毎年八月十日には様々な伝統芸能を奉納して頂く予定となっておりますので、どうぞお楽しみ下さい。」



しょうふくえんにち とおかいち  
招福縁日 十日市

毎月10日は、1月10日の十日えびすに因み、えびすさまの縁日として午前10時に祭典が執り行われ、月替わりのおおかしが参拝者に振る舞われます。

毎年7月10日には、夏の十日えびすとして「あらえびす夜まつり(エビスビールフェスタ)」が開催され、賑わっていましたがこの3年間はコロナの為中止となりました。

コロナ禍が続く中で少しでもお祭りの活気を取り戻そうと、令和4年9月10日から毎月10日の十日参りの日に「招福縁日 十日市」が開催されることになりました。十日市では、約20店舗の野菜や果物、手作り品などの露店、お店が参道に立ち並びます。

日時/毎月10日 10:00～15:00頃まで  
※1月10日、7月10日を除く



お知らせ

い  
び  
す  
NISHINOMIYA EBISU  
新巻  
令和五年  
西宮えびす  
令和五年新春号(通巻第五十八号)  
令和四年十二月一日  
発行  
編集/文化課  
印刷/小西印刷所

**本**年はコロナ禍前と比べると規模縮小とはなりますが、三年ぶりに二十一日奉納演芸会・二十二日稚児行列・子ども樽みこし、若戎会だんじり巡行など神賑行事を斎行することができました。

当日は多くの参拝者や子ども達で境内が賑わい笑顔溢れる二日となりました。二十三日の渡御祭については、令和元年から延期となつていた全船団での神戸和田岬への海上渡御を計画しておりましたが、残念ながら雨天の為、和田岬神幸は延期となり、雨儀渡御本殿祭を謹んで斎行致しました事を茲に報告致します。



※写真はご会食プラン¥10,000(会席料理)



- ご会食プラン
- 会席料理 ¥10,000
- 松花堂 ¥7,000
- お子様料理 ¥4,000
- お食い初め膳 ¥4,800



お宮参り  
百日祝い  
(お食い初め)は、  
えびすさまで♪



お母様の  
ヘアセット  
着付け  
写真撮影も  
承ります。

※写真は¥5,940(税込)料理

- お持ち帰り用
- 折詰弁当 ¥3,780・¥5,940
- お食い初め重 ¥4,860

※表示価格はすべて税込価格

info@jinjakaikan.com 西宮神社会館 ☎(0798)23-3311

西宮神社  
公式ホームページで最新情報を  
公式Instagramも開設!  
ご覧下さい。



西宮神社  
公式サイト



西宮神社  
公式Instagram

西宮神社 公式サイト 検索  
https://nishinomiya-ebisu.com

皆様が福々しい気持ちでご参拝頂けるように引き続き境内整備・設備改修実施。十一月一日より銅板奉賛受付を開始しておりますのでご協力宜しくお願い致します。

張りにて修繕致しました。



三島それぞれの参道には、石に刻まれた鯛が隠れているのでご参拝の際には是非探してみたいかがでしょうか。そして本誌でも紹介しましたが、令和六年一月二十日から十一月末の期間で本拝殿御屋根葺替工事を予定しております。

表紙写真は、本年八月に「令和の本殿御屋根葺替事業」の一環として実施した神池参道補修工事完了写真となります。

編集室から